

旧赤松家だより

平成30年8月1日



旧赤松家庭園では、朝からセミたちが大合唱をしています。

約1500坪の庭園には池や竹林もあり、セミばかりでなくトンボやチョウなど多くの昆虫を観ることができます。また、ナギノキやクスノキをはじめ約40種類の樹木が植えられていて、四季を通じて自然の変化を身近に感じられます。



静岡県指定文化財の門や塀、磐田市指定文化財の蔵、赤松則良や赤松家に関わる貴重な展示物はもちろんですが、庭園も旧赤松家の楽しみの一つです。猛暑の毎日ですが、竹林・樹木を渡る風はしばし暑さを忘れさせてくれます。四阿あずまややベンチもあるので、庭園でゆっくり過ごしてみるのはいかがでしょうか。

8月1日からの内蔵ギャラリー『旧赤松家庭園の生き物たちⅢ』では、庭園の昆虫や草花などの写真、チョウやセミの標本などの展示をしています。抜け殻でセミのオス・メスを当てるコーナーもあります。

ご家族で、お友達と、もちろんお一人でも、歴史や自然、建物などいろいろ楽しむことができる旧赤松家へぜひお出かけください。

内蔵ギャラリーのご案内

『旧赤松家庭園の生き物たちⅢ』

開催期間：8月1日（水）～ 8月12日（日）

*休館日 8月6日（月）

開催時間：午前9時～午後4時30分（最終日は午後3時まで）

入場料：無 料

出展者：旧赤松家記念館

問い合わせ：旧赤松家記念館 0538-36-0340



ショウジョウトンボ



クマゼミと抜け殻